

農村災害ボランティアだより

【第11号：2018年11月発行】

【平成30年度ボランティア活動状況】

農村災害ボランティアの平常時活動として、施設管理者からの要請に基づき施設管理者に代わり施設の点検を行う予定でしたが、7月豪雨により西日本で農業用ため池の決壊や一部損壊により、下流の家屋や公共施設等に対する被害が発生したことから、9月の台風前に全国の農業用ため池の緊急点検を実施することとなりました。

道内233箇所の農業用ため池のうち38箇所について、農村災害ボランティアの方々の協力のもと「農業用ため池緊急点検」を実施しました。

緊急点検の結果、道内すべての農業用ため池について、台風に向けて緊急措置が必要なため池はありませんでした。

なお、平成29年度までの平常時点検活動による施設点検結果については、水土里ネット北海道のホームページに掲載されていますので参照してください。

<http://www.htochiren.jp/saigai/kyougikaikai.htm>

農業用ため池緊急点検状況



※ 平成30年12月中旬に平成30年度ボランティア活動報告会の開催を予定しています。

【ボランティア等の登録状況】

平成30年度に農村災害ボランティア17名の方が新規に『農村防災・災害ボランティア活動協議会』に登録されました。

近年、農村災害復旧専門技術者の新規認定者数が減少しています。また、認定者が次の更新を行わないなど更新者数も減少傾向となっています。

平成31年2月には、「災害復旧技術向上のための講習」を開催予定しています。積極的な受講をお願いします。

農村災害復旧専門技術者（ボランティア重複）	農村災害ボランティア	合計
71（9）名	152名	214名

所属	開発局	北海道	市町村 改良区	コンサル ゼネコン	合計
現役	7	28	4	10	49
OB	4	12	5	1	22
合計	11	40	9	11	71

（平成30年10月末時点）

- ◆ 『農村災害ボランティア』（4グループ）
 - [道央G（42名）～石狩・渡島・檜山・後志・日高]
 - [空知G（40名）～空知・胆振]
 - [道北G（37名）～上川・留萌・宗谷]
 - [道東G（33名）～オホーツク・十勝・釧路・根室]

【災害復旧事業技術担当者会議を開催】

近年、技術職員の減少に合わせて災害復旧事業経験者が減少するなか、大規模な災害が発生した場合、迅速な対応が図られるよう、6月27日（水）～28日（木）の2日間にわたり、道・市町村・土地改良区の職員や災害復旧専門技術者・農村災害ボランティアの方々92名が参加し『平成30年度災害復旧事業技術担当者会議』を第2水産ビル会議室において開催しました。会議では、12のグループに分け過去の申請地区を題材として災害査定実務演習に取り組みました。



【平成30年発生災害の概要】

7月豪雨(北見市)頭首工



7月豪雨(小平町)排水路



7月豪雨(美瑛町)排水路



7月豪雨(深川市)農地



胆振東部地震(北広島市)農地



胆振東部地震(由仁町)ため池



胆振東部地震(厚真町)農地



胆振東部地震(厚真町)農地



胆振東部地震(厚真町)用水路



胆振東部地震(安平町)農地



胆振東部地震(安平町)用水路



胆振東部地震(むかわ町)集落排水



【発行・編集】

『農村防災・災害ボランティア活動協議会』

水土里ネット北海道 事業部事業管理課

TEL011-221-2292 Fax 011-221-2258

E-mail : info@htochiren.jp

『農村防災・災害連絡協議会』

北海道農政部農村整備課 防災災害グループ

TEL011-204-5425 Fax 011-232-4128

E-mail : nosei.noson1@pref.hokkaido.lg.jp